



インフルエンザ予防接種 高齢者の無償化 子どもへの補助

コロナ対策で、インフルエンザ予防接種を促進するための助成制度が各地で拡充されています。報道等で把握した自治体を紹介します。

10月から接種開始と言われていますが、現場では混乱もあるようです。既存制度と今年から拡張された制度を整理し、住民にわかりやすく周知するよう求めていきましょう。

みなさんの自治体ではどうですか？情報をお寄せください。

- 知立市 高齢者のワクチン接種費用無償化
- 瀬戸市 尾張旭市 妊婦と子ども（生後6ヶ月～中学3年）、60歳未満で基礎疾患ある者へ助成 一人1回2000円 2回まで
- 豊田市 みよし市 65歳以上に全額補助
- 清須市 妊婦と子ども（生後6ヶ月～18歳）一人一回1000千円 65歳以上は県補助で無料
- 大治町 妊婦と子ども（生後6ヶ月～中学3年）一人一回1500円 65歳以上は県補助で無料
- 豊川市 高齢者のワクチン接種費用無償化
- 豊橋市 子ども（1歳から中学3年生+高校3年生）に補助 一人1回1000円
- 豊山町 子ども（中学三年生まで）に補助一回1000円
- 扶桑町 65歳以上のワクチン接種を無料化
- 南知多町 65歳以上のワクチン接種を無料化
- 刈谷市 高齢者のワクチン無償化

追加修正のお知らせ 10月1日号記事の追加修正

少人数学級の質問

津島市を追加 通告は「学校教育に関する件」ですが質問内容が確認できました。

公営住宅の保証人

西尾市 3月議会で条例改正し、連帯保証人が2名から1名になりました。

県下自治体 連帯保証人1人=20 // 2人=3

名古屋市 生後6か月から小学2年生

までの子どもと妊婦に1回1000

円（子どもは2回まで可）クーポン

券（ダウンロード、各区役所・各区保健センターで発行）10月15日～1月31日まで

65歳以上の高齢者、60歳から64歳の身体障害者（心臓、腎臓、呼吸器、免疫不全など1級相当）は無料（今シーズン一回限り）



少人数学級の論戦から

愛西市議会の本会議質問から

真野議員）35人学級、30人学級にした場合、学級数はいくら増えるのか？



教育部長）35人学級では7学級、30人学級では34学級、増となる。

真野）費用は

教育部長）7人増で年間4200万円（非常勤講師）、34人増で2億400万円程度、その他空調設備などの改築費用などもかかる。

真野）なぜ独自に進めないのか

教育部長）市独自雇用の先生を定期的に雇う必要がある。いまその人材確保が非常に困難。財源の問題よりも教育の質を担保するのが一番大きな課題だ。*ちなみに愛西市では、基金が約160億円です。

弥富市では議会質問前に、那須・板倉の両議員で市内の小中学校10校を訪問し、校長先生などと懇談を重ねました。

国も動き始めました。粘り強くがんばろう！

秋の全県議員学習交流会

*11月4日(水) 午後1時30分～5時

*労働会館東館ホール

- 国保の現状と課題 愛知県国保運営方針の改定を控えて 講師=西村秀一 愛知県国保運営協議会委員
- 介護保険の現状と課題 第8期事業計画の策定を控えて 講師=吉田孫之 愛知県社保協 理事
- 愛知県の保健所をめぐる現状と課題

報告=西田静朗 党県自治体部県政対策室
議員の発言と交流 発言希望を募ります。連絡を！

地区自治体部長会議

10月21日(水) 1時半～県委員会4階

